

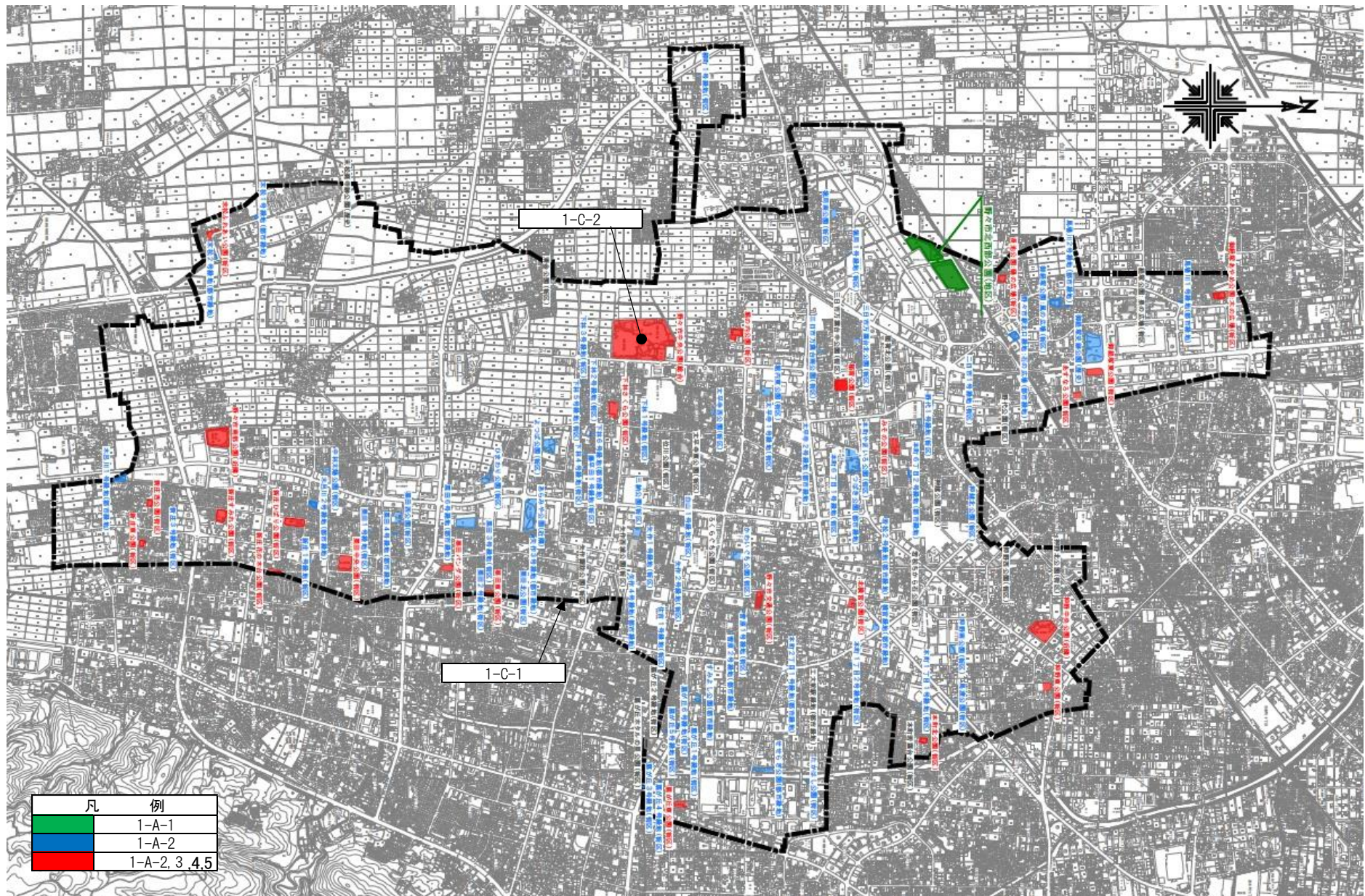
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成27年4月1日

計画の名称	1 憩いの空間・魅力ある公園・安全安心な公園づくり														
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	野々市市										
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>野々市北西部公園は、野々市市北西部に位置する大規模な区画整理事業（A=65ha）の区域内において、地区住民に緑のオアシスやレクリエーション・交流の場を提供するだけでなく、大規模な地震等の災害に対して避難地となる地域の防災緑地として整備を行うものである。平成27年度までに施設整備を行い、事業の完成を目指す。</li> <li>誰もが安全で安心して利用できるように、公園施設のバリアフリー化を推進するとともに、公園施設の長寿命化計画を策定し老朽化した施設の計画的な改築を行う。</li> <li>野々市中央公園は、本市の中西部に位置し都市公園事業により市内唯一の総合公園として昭和54年に整備された。平成29年3月に「全国椿サミット野々市大会」の開催が決定されたことにより、これを機に総合公園内に市民や来客者が椿に親しみ、憩いの場所となる「椿山（椿園路）」「椿の小路」を設け、市の象徴的な市花木「椿」の拠点づくりを目指すこととした。また、慢性的に不足している駐車場の拡張整備やバリアフリー化、トイレのバリアフリー化を行い、市総合公園としての魅力を増進するとともに安全安心や快適性の向上を図る。</li> </ul>														
計画の成果目標（定量的指標）	野々市市都市公園のバリアフリー化率74%（H21）から77%（H27）に拡大。 野々市北西部公園の整備率47%（H21）から100%（H27）に拡大。														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値		備考						
							当初現況値 (H21末)	中間目標値	最終目標値 (H27末)						
	野々市市都市公園における施設のバリアフリー化を進める。						74%		77%						
	野々市北西部公園の完成により広域的な避難場所を確保する。						47%		100%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,076 百万円	A	986 百万円	B	0 百万円	C	90 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.4%					
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	野々市北西部公園	施設整備、埋蔵文化財調査 A=2.8ha	野々市市						682	
1-A-2	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	公園施設長寿命化計画策定事業(野々市市)	長寿命化計画策定 N=74公園	野々市市						11	
1-A-3	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	公園施設安全・安心対策緊急総合支援事業(野々市市)	野々市中央公園外2公園における園路・トイレのバリアフリー化、施設改修等	野々市市						144	※平成27年度より
1-A-4	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	都市公園長寿命化対策支援事業（野々市市）	野々市中央公園トイレ等改築実施設計	野々市市						3	
1-A-5	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	野々市中央公園	施設整備	野々市市						146	
										合計	986				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
										合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	利用促進	一般	野々市市	直接	野々市市	野々市市効果促進事業	緑の基本計画策定	野々市市						5	
1-C-2	利用促進	一般	野々市市	直接	野々市市	野々市市効果促進事業	椿展示施設整備	野々市市						85	
										合計	90				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	市制移行など様々な情勢の変化に伴い、計画の見直しを行い、都市公園の整備、緑地の保全及び緑化の推進を図る。														
1-C-2	野々市中央公園のバリアフリー化等に合わせ、市花木である椿の展示施設を整備することにより、総合公園として魅力の向上と更なる利用促進を図る。														

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 憩いの空間・魅力ある公園・安全安心な公園づくり	交付対象	野々市市
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)		



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 憩いの空間・魅力ある公園・安全安心な公園づくり(防災・安全) 事業主体名: 野々市市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
2) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
2) 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
3) 目標と事業内容との整合性が確保されている。	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みが妥当である。	○
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境が整えられている。(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	○
2) 地元の機運がある。(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○